

宍粟市19年度予算

総額452億5,146万円で可決

簡素で効率的な行政運営に向けて～

新庁舎建設費も盛り込まれる

3月定例議会が、3月2日から30日までの会期で開会されました。19年度予算や条例の制定等、重要な案件が上程され、それぞれ予算特別委員会や各常任委員会に審査が付託されました。

19年度は総合計画実行初年度と位置づけ、旧町からの継続事業や事務事業の調整を早期に進め、真に住民に必要な行政サービスを的確に提供することを基本に、人件費などの経常経費を抑制する中でも、地域情報化事業や庁舎建設を盛り込んだ予算で投資的経費ともに前年度当初予算額に対し原則10%減という方針で編成された予算で、総額452億5,146万円（対前年度0.7%増）になっております。

その重点施策は次の5項目であります。

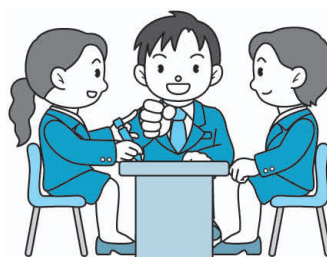
- ・ 参画と協働によるまちづくりの推進
- ・ 少子化対策の推進
- ・ 林業再生
- ・ 地域情報化の推進
- ・ 行財政改革（簡素で効率的な行政組織の再編に向け新庁舎の建設に着手）

以下、主な項目を列記して
予算内容をお伝えいたします。



企画部

総合計画実行初年度として、地域コミュニティづくり、地域情報化の推進、公共交通システムの構築等に取り組みます。



総務部

持続可能な財政構造の確立を目指して、引き続き人件費などの削減を図るとともに、簡素・効率的な行政基盤確立のための本庁舎建設費を計上しました。

